

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 世田谷区立駒沢中学校  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )  
所在地 〒 154 - 0012  
東京都世田谷区駒沢 2-39-25  
E-mail dai105@setagaya.ed.jp  
Website <http://school.setagaya.ed.jp/tkowa/>  
児童生徒数 男子 240 名 女子 177 名 合計 417 名  
児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( キャリア学習 )

### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動

##### 1 国際理解教育

国際ユースU14サッカー大会が駒沢公園で開催されることにもない、韓国・ブラジルの選手との交流を実施しました。また、世界のさまざまな地域での子どもの生活の現状を考える機会として、アジア教育友好協会と連携して、ラオスの現状について知識を深め、世界の人役に立つことについて考える授業を行いました。関連して「救缶鳥プロジェクト」の活動に取り組んでいます。スウェーデンの教育委員会視察を通して、ICT活用など本国との教育活動の違いについて、意見交流を行いました。その他に、都内私立高校の近隣語講師を招き、言語や文化に関する授業を行いました。



##### 2 伝統文化・食育・世界遺産

世田谷区独自の教科「日本語」に関連して、第3学年は修学旅行での著作を通して、日本の食文化についてあらためて考え、「食育」を推進しました。また、歌舞伎鑑賞教室、着付け体験、茶道体験等を通して、伝統文化に関する関心を高めました。第1学年では河口湖移動教室に向けた事前学習・現地学習・事後学習により、世界遺産・富士山の学習を行いました。

##### 3 人権教育

本校の研究テーマに「人権教育」を取り上げ、いわゆる「性的マイノリティ」に関する授業、障害理解授業、デートDV防止講座についてなど、人権尊重教育を推進しました。生徒たちは生きることや多様性について学び、人権について深く考えました。また、「いじめ防止プログラム」やいじめゼロチームを発足させたことなどで、子どもの人権についても実践的に課題解決に向けて取り組みました。



#### 4 環境教育

本校にある緑地「タンチ山」を整備し、理科の探索実習などを行うとともに、近隣の保育園児が散策に来るなど、生徒や地域の方々がいつでも自然に触れることができるようにしました。今後は、ビオトープの設置に向けて整備を進めていきます。校庭の芝生化やグリーンカーテンの設置など、緑化活動も継続して行っています。また、秋季にはJRC（ボランティア）部と地域の方々と一緒に公園や学校周辺の清掃を行いました。

#### 5 エネルギー教育

全学年の理科の授業では、資源や環境、エネルギーについて学習し、ESDの観点から集団討論を行いました。グループで話し合い、その結果を発表することで、限られた資源をどう大切にしていくか、新しいエネルギーの開発や持続可能なエネルギーの活用についてなどさまざまな意見がでました。これからの社会において、自分たちができることを具体的に考えました。

#### 6 防災教育

全校生徒と保護者、地域の方々が参加する合同防災訓練を行いました。この訓練を通して、生徒は、自分たちの住む地域の防災に関する準備の実態を理解し、地域防災の意義について考え、防災に対する意識を高めることができました。避難所運営訓練では、避難所の設置や運営に関する知識を深めました。地域の方々と協力して主体的に活動する場面を設定することで、地域の中で生活していることを自覚し、地域を大切にする心をはぐくむことができました。



#### 7 キャリア教育

キャリア学習では大学体験入学、職業体験、NIEなどの学習を通して生徒たちが将来について学び、考えることができました。持続可能な社会の実現を目指して、地球市民として自分たちがどのようなキャリアを進むのかを深く考えることができました。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）